

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成28年度	回 数	第4回
日 時	平成28年5月24日 午前9時30分～12時00分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 森教育長 南部議会事務局長心得 小林経営政策部長 東村総務部長 大西市民部長 平岡環境安全部長 山口健康福祉部長 野口子ども家庭部長 間野資源循環部長 野崎まちづくり部長 曾我教育部長 欠席者:なし		
次 第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 公共施設等総合管理計画の公表について (2) シティプロモーション基本方針(案)について (3) 長期的な財政負担(収支)の見通しの調査について (4) 平成 28 年度東村山市インターンシップ学生実習生受け入れについて (5) 平成 28 年度職員等特別表彰対象者の推薦について (6) 綱紀粛正推進月間の実施について (7) 公共の緑の植生ガイドラインについて (8) 平成 28 年市議会 6 月定例会関係資料提出日程について (9) その他 3. その他 4. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

熊本地震で、5月12日に防災安全課職員、20日に総務課職員を派遣し、帰京後に報告を受けた。相当の家屋が倒壊していた。宿泊施設が60キロも離れ、往復に1日3時間くらいかかったとのことだ。従事業務は、罹災証明発行のための家屋調査だ。未経験ながらも東京都のトレーニングを受けて、2人1組で行ったそうだ。首都直下型地震も想定される中で、平時から一定の予備知識と、簡単な家屋調査方法を身につけておくといい。今後は、入庁3～5年目の職員の悉皆研修にして、日頃から万が一に備えておく必要があるかもしれない。

13日には水防訓練が行われた。有意義な訓練ができたと思う。

J：COM西東京では、「たまろくと人図鑑」という20分程度のインタビュー番組を始めるそうで、栄えあるゲスト第一号に私が選ばれ、19日に東久留米のスタジオで収録を行った。6月1日から放送されるので、ご覧いただきたい。

20日には全国市長会の関東支部総会が開催された。現在、全国市長会で問題になっているのは、会長選挙が1市1票ではなく、都道府県で1票ということだ。市の多い関東地区が割を食っている。全国の市の3分の1は関東に集中しており、他の地域が1市1票制に強く反対している。全国レベルでは自治体ごとの収入の格差があるので、地方税の一部を交付税の原資にすることはむしろ良い、との意見だ。都市部の自治体の声をどのように国政に反映させるべきかが課題だ。東京の自治体は豊かだから、国税化して全国の厳しい自治体に分け与えようという流れが加速しかねない。当市のように東京でも非常に厳しい自治体がたくさんある実情を知ってもらう努力をすべきだ。全国市長会の動きも注視したい。

「あん」は、自治体レベル・市民レベルで上映会が続いている。様々な場で上映会が開催されるように、市としても後押ししたいと考えている。

21日に秋津でタウンミーティングを開催した。様々なご意見があった。

22日の川まつりはご苦労様であった。

2. 報告事項

(1) 公共施設等総合管理計画の公表について

公共施設等総合管理計画は、平成26年4月に国から全ての地方公共団体に向けて策定要請されたものである。インフラ機関を含めた全ての公共施設の状況、現況、将来の見通し、維持管理・修繕・更新にかかる中長期的経費について、客観的に把握・分析することが求められている。このたび、公共施設再生計画にインフラ施設の内容を加えて再構成し、「東村山市公共施設等総合管理計画」として策定した。

計画策定に当たっては、公共施設再生計画庁内検討会議が中心となって検討を進め、4月8日

～27日にパブリックコメントを実施し、市民からの意見をいただいた。意見の改善については、計画公表と併せてホームページで掲載する。

I. 共通編

ハコモノ、インフラに共通する事項として新たに取りまとめた。財政状況、インフラ部分を含めた将来推計の更新を行った。

●計画期間

策定済の公共施設再生計画と併せて平成42年度までとしている。総合計画・行財政改革との整合性を図るが、次期総合計画・行財政改革大綱の計画期間はそれぞれ策定するため、表題外としている。

●将来費用

今ある施設を大規模修繕・更新するには、ハコモノ・インフラ施設合わせて今後30年間で約1千470億円が必要で、毎年23億円が不足する。ハコモノだけで今後30年間で900億円の更新費用が必要となる。インフラ施設は約577億円必要となる。

II. ハコモノ施設編：既存の公共施設再生計画を再掲載した。

III. インフラ施設編

●道路

幹線道路では全長の約3パーセントに当たる約1.6キロメートル、生活道路は11パーセントに当たる約25.6キロメートルが要修繕区間になっている。

●橋梁

全体の約25パーセントが建設後50年を経過している。今後、老朽化が進むと財政負担が増すことが懸念される。

●公園

周辺環境が変化しているため、公園のあり方の見直しも課題となっている。

●下水道

老朽化が進み、修繕や更新にかかる財政負担が大きくなることから、更新時期の平準化、効率的な維持管理を検討する必要がある。

●更新にかかる将来費用

耐用年数、更新単価等は（財）自治総合センターの「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」を参考に試算した。今後30年で約577億円の更新費用が必要となる。

●インフラ施設維持管理基本方針の考え方

現状や課題を踏まえ、基本理念と基本方針をまとめた。

当市のインフラ施設の維持管理に関するコンセプトとなる基本理念は「将来にわたり、市民が安全・安心な生活を送れるよう、適切な維持管理を実施する」とする。インフラ施設は市民が安全で安心な生活を送る上で必要不可欠な社会基盤であるとの認識で掲げたものである。この基本理念を実現するため、3つの基本方針を掲げた。

1. 施設のあり方の見直し、計画的な保全により、安全・安心を確保する。

2. 適切な維持管理を実施するための体制を強化する
3. 公民連携等により、効率的・効果的な管理運営を実施する

●基本計画の推進

庁内推進体制、計画の進行管理、中長期的な視点によるロードマップをまとめた。ハコモノ施設編と同様に、いつまでに何をすべきかを見える化し、職員、関係機関、市民と情報共有する。

●今後

6月1日号市報に掲載し、ホームページでも公表する。公共施設再生計画の出張講座でも市民に説明したい。6月24日に庁内説明会を開催、各課1名以上の出席をお願いする。

インフラ施設は本計画に基づき、まちづくり部と連携して引き続き取り組みを進めていく。ハコモノ施設は、昨年度より庁内検討会議で各論部分である検討対象事業の検討作業を進めていく。行財政改革第3次実行プログラムでも平成29年度にケーススタディの公表を到達目標としているので、抽出作業に向けた議論を踏まえて計画の推進を実施したい。

【意見等】

○策定時にも伝えたが、庁内推進体制について、「インフラ施設維持管理統括部門が経営・予算・人材育成部門や施設担当所管と適切に連携し、適切な維持管理を円滑に推進する庁内体制を整備する」とあるが、今後、維持管理が増え、新たな都市基盤整備も進めていく中では、まちづくり担当所管から統括部門を捻出できない。

→既存施設の維持更新には莫大な費用がかかるため、これまでとは違う手法・考え方の下で進めていく必要がある。インフラについてもまちづくり担当所管だけで統括部門を担うわけではなく、関係所管、管財部門、営繕部門も含めた全庁的なマネジメント部門の構築体制も必要ということも含めて、庁内推進体制を庁内検討会議で議論し、方向性ができたら、この場で報告させていただきたく、ご理解いただきたい。

→庁内体制はイメージ図として作っており、具体的にはこれからの議論だ。

総合計画の重点課題であり、10年先、20年先の市の根幹を維持するために、このように提示するというので良いと考える。

○概要版を作成する予定はあるか。概要版を作成していただければ、市民にも機会がある時に取り組みを話すことができる。

→現状としては概要版を作成する予定はないが、職員説明会で計画書とは別に説明会用に、出張講座のパワーポイント資料を簡素化したものを配付する。概要版についても課内で検討する。

⇒この形で公表していく。

(2) シティプロモーション基本方針(案)について

当市のシティプロモーションとは、定住人口や交流人口を増やすために、東村山の価値や魅力に共感する「東村山ファン」を増やす取組みを指す。このたび、全庁的な方針を作成した。

東村山に興味や関心を持ってもらえるように、東村山の魅力を知ってもらう情報発信が重要

である。市内居住5年未満で、東村山をよく知らない20歳代・30歳代は、5年未満で市外に転居する者が多いことから、20歳代・30歳代にターゲットを絞る必要がある。

ブランドメッセージ「たのしむらやま」をハブとして使い、イメージを向上させていきたい。「たのしむらやま」を市内のみならず市内の店舗等でも使っていただけるよう、利用に関する規定の整備等を進めている。

シティプロモーションは、市が行う取組みだけでなく、市民や事業者にも一部を担っていただきたい。東村山に来る人が「ロコミ」で広げる形にならないければ効果は薄い。

事業実施過程における市民との接し方、窓口対応、市内での挨拶等、職員が行うことは全て、東村山のイメージを左右する可能性がある。職員全員が「東村山のセールスマン」として認識して行動することが重要である。

6月3日～22日にパブリックコメントを実施する。いただいたご意見を考慮し、7月を目途に公表したい。公表後は職員向けに説明会を実施する。

【意見等】

○ロゴマークを菖蒲まつりのポスターに入れてもらうように声をかけているが、利用に関する規定の整備を早急をお願いしたい。

○「たのしむらやま」やロゴマークに込められたものは何なのか、ということを職員が知っておくということが大切だ。発信者側として周知徹底を図った方がいい。

→現在作成中のガイドラインに盛り込む。

⇒利用に関する規定はスピードが求められている。職員周知も含めて所管に持ち帰って、パブコメも経て最終的なものにまとめ、さらに展開させる方策も進めていきたい。

(3) 長期的な財政負担(収支)の見通しの調査について

長期的な財政の見通しを立てて、厳しい財政の中で今後のターニングポイントをどのような形で乗り切るか、一般財源を如何に増やしていくか等、経営会議の経営という部分で議論できる材料を作りたい。そのため、10年程度の長期的なスパンで財政見通しを立てていきたい。総合計画や個別な計画で、例えば連立や都市計画道路の積算はある程度の見通しが出ているが、まだ出し切れない、今後予想される経費の推移について各所管に調査をかける。

その結果を踏まえ、財政フレームを作成したい。

この調査はあくまでも内部検討用で、市が抱える財政需要を明らかにするためのものである。数字をまとめるのは厳しいと思うが、今後の負担を明らかにして、期限や目標値を明確にして対策を議論したい。締切は6月30日とする。

⇒この年度に最大でどれくらいの財政需要があるのかを押さえておきたい。ご協力を。

(4) 平成28年度東村山市インターンシップ学生実習生受け入れについて

学生の就業体験の機会を提供する、市政に対する理解を深める目的で、インターンシップ実施計画に基づいて行うものである。昨年度は13大学13名を受け入れた。

●期間：基本は8月～9月の5日間である。学生の単位取得、所管の業務によって長短がある。

受入可能の期間も記載していただくので、必要に応じて調整させていただく。

●人数：1課1～2名程度だが、それ以上でもかまわない。

●業務内容：予定でいいので内容を記載していただきたい。

●受入対象：実績上、都内近郊の大学だが、遠い学校でも希望があれば受け入れる。

●受け入れられない場合：個人情報を取り扱う等、特別な事情があれば記載していただきたい。

●本調査への回答期限：6月10日

【意見等】

○受けた人が当市職員になった例はあるのか。

→24年度は、受入学生9名のうち4名が受験し、2名が採用された。25年度は19名のうち4名が受験し、1名が採用された。26年度は10名のうち3名が受験し、1名が採用された。28年度は、4年生ではなかった24年度受入学生が1名採用された。

○7月始めに選挙がある。

→間に合わないかもしれないが、検討させていただく。

○受入要請のあった大学にのみ案内しているのか。

→送ってほしい学校があれば、連絡いただきたい。

大学経由だから、ホームページも含め、一般公募はしていない。受け入れる部署がたくさんあれば一般公募もできると思うが、多すぎても断ることになってしまう。個人情報を扱うから受け入れられない部署もかなりある。

(5) 平成28年度職員等特別表彰対象者の推薦について

毎年依頼している件である。

過去の表彰者を別紙資料にしたので参考にしていただきたい。平成27年度には23団体、4名を表彰した。勤続20年以上の永年勤続表彰対象者については、所管からの推薦は不要である。締切は6月10日とする。

表彰審査会で審議して表彰者を決定する。受賞者、推薦者には決定次第に案内文を送付する。

表彰式は7月19日11時からマルチメディアホールで開催する。

(6) 綱紀肅正推進月間の実施について

綱紀肅正推進月間は6月と12月に設定している。

6月21日、30日に悉皆研修を行う。6月は人権啓発、12月は倫理をテーマとしている。3年に一度の受講が必須である。業務の都合等もあると思うが、未受講者が40名を超えている。欠席する場合は所属長の決裁・押印された理由書を提出していただくことにする。今回欠席した場合は、人権に関するレポートを提出していただく。

あわせて、業務点検を実施する。管理職から一般職まで職層別に、適正な事務執行、情報セキュリティ、非行防止等の観点から、業務執行の現状をチェックした業務点検表を作成していただく。適性はA、ほぼ適正はB、問題ありはDという評価である。

所属長には、改善策を部下に指示して、重大な問題が発覚した場合は部長に報告する。所属長が取りまとめ、提出していただきたい。締切は7月8日とする。

(7) 公共の緑の植生管理ガイドラインについて

平成26年9月に緑化審議会からの答申を踏まえ、市が管理する公共の緑、それぞれの樹木の種別、構成、立地環境に応じた目指すべき姿やその目標に向けた管理を計画的に行うための指針として、「公共の緑の植生管理のガイドライン」を策定した。

●現地調査

平成26年度に樹種、直径、樹高を主体とした基礎調査を、平成27年度に樹形の状況、樹木の健康度を主体とした詳細調査を行った。

●対象地

公共緑地2か所、公園5か所、野火止用水、街路樹4路線、小学校15校、中学校7校である。調査本数は合計5千160本である。

●調査項目

樹種、直径、樹高に加えて、樹形を4タイプに分けた。

剪定が加えられていない「自然樹形」、透かし剪定等、健全な管理がされている「自然相似樹形」、乱暴な剪定で樹形が乱れている「ぶつ切り樹形」、美観に配慮して整形された「仕立て剪定」の4タイプである。

●樹木健康度

枝葉の量、枯損部分、樹木の傾斜、葉・枝・幹・根株・根系の異常、の8項目を調査し、「健全」「問題あり」「悪い」の3段階で評価した。

●樹木位置

樹木が生息している場所を地図にして樹木位置図も作成した。

●調査結果

樹形状況のグラフ内にある数字は本数である。

例えば都市公園の境界付近では、自然相似樹形が149本（約60パーセント強）、ぶつ切り樹形が71本（約30パーセント強）、仕立て樹形が13本（約5パーセント）である。都市公園の中でも、ぶつ切り樹形の割合が多い。樹木の生長に伴う民有地への越境対応によるものと考えられる。

学校の入口周辺は自然相似樹形が71本（約10パーセント強）、ぶつ切り樹形が121本（約30パーセント）、仕立て樹形が231本（約50パーセント強）となっていて、学校は仕立て樹形の割合が高い。美観に配慮した剪定をしていると思われる。

街路樹の、狭い空間のソメイヨシノ植栽地で100パーセントがぶつ切り樹形である。狭い空

間に植樹されたソメイヨシノが成長して、やむなく強剪定されたものと思われる。高齢化したものは樹種の変更も検討する必要がある。

樹木健康度と樹形状況を比較すると、ぶつ切り樹形で管理されているゾーンと、健康度で「悪い」「問題あり」と分類されたゾーンと類似する。葉を大量にとると、病害虫に対する抵抗性も弱めて、ぶつ切り樹形を繰り返すと枯れてしまう傾向がある。

●アクションプログラム

調査結果に基づく緑地管理のための共通プラン、個別プランを作成した。

現地調査で把握された危険木については、早期の除去が必要である。

追跡調査、施設管理者による管理作業、専門業者による管理作業は、各樹木の調査結果によって実施時期が変わる。記載の実施時期を目安に、各所管で検討していただきたい。

危険木を含めた樹木調査結果、樹木位置図等は、後日、各施設管理者に資料提供する。

●資料サンプル

街路樹をベースにした資料サンプルを添付する。樹木位置図、毎木調査の結果、調査方法、樹木状況、健康度、対応策の方向性を記載している。

ガイドラインには、植生管理に関する基礎資料、用語解説も入れている。活用いただきたい。

⇒庁舎の周囲、学校、公立保育園、秋水園、ふれあいセンター、街路樹や公園など、今後はガイドラインに基づいて剪定していただきたい。各所管にて、業者等と連携・調整いただきたい。

(8) 平成28年市議会6月定例会関係資料提出日程について

市議会6月定例会関係資料提出日程について確認した。

(9) その他

〈職層別会議の実施について〉

係長職～次長職まで、グループに分かれて自由に意見を述べ合う場とする。

今年度のテーマは「大規模震災に備えての取り組み」である。

日程は6月28日～8月4日である。日程表とグループ分けを確認していただきたい。各グループの★印のついた人が司会進行と会議録メモを取る人の調整をしていただきたい。

〈地域活性化包括連携協定の締結式について〉

5月25日16時より、中央公民館1階の展示室で、イトーヨーカドー、セブン-イレブン・ジャパンと東村山市との地域活性化包括連携協定の締結式を開催する。業務に支障のない範囲で参列していただきたい。商工会の会長、JAの組合会長・理事長を招待している。

〈多磨全生園植樹について〉

5月30日11時より、多磨全生園内で映画「あん」の植樹セレモニーを行う。「映画「あん」製作委員会」の主催で、原作者のドリアン助川氏、出演者の樹木希林氏、永瀬正敏氏が植樹する。村上梅林近くの作業所近辺に、しだれ桜3本を植える。石碑も当日除幕するとのことである。

4. その他

〈熊本地震への募金活動について〉

5月16日、17日に各部の協力で募金活動を行った。約37万円集まったので、日本赤十字を通じて被災地に送金する。

〈ごみ出しアプリについて〉

6月1日からごみ出しアプリをアップする。

内容はごみ出しカレンダーと大きな違いはない。収集カレンダー、分け方、出し方を紹介する。

英語、中国語、ハングル語の3言語を入れていく。

5. 閉会